

——『マスカレイド』の振り付けは、どのように覚えたのですか？

シェイ(=リーン・ボーン)から映像を受け取ったのが、ショーの直前だったんです。とにかくひたすら見て覚えて、夜の11時から朝の4時まで、部屋で、ひとりでやっていました(笑)。

——映像を5時間見ただけの状態で、本番を迎えたのですか？

そうですね。振り付けを覚えてから3時間くらい寝て、その日の本番で滑る、という感じでした(笑)。

——『マスカレイド』はメッセージ性も強い曲ですよね。

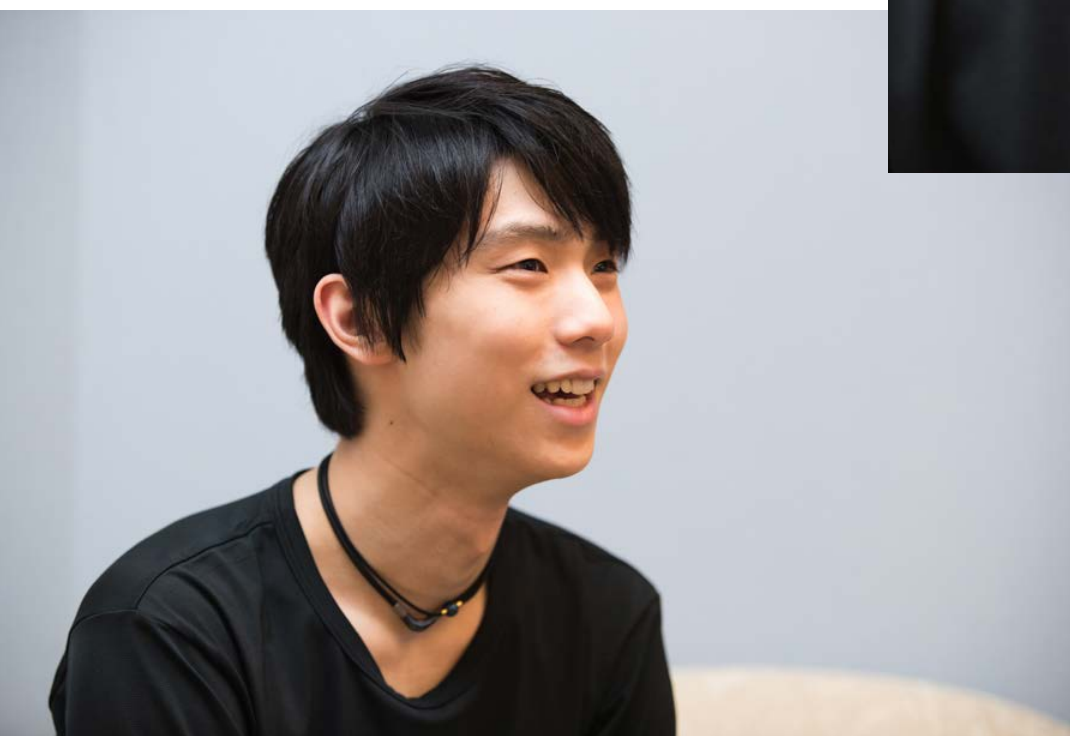
はい。Toshlさんの背景を考えると、ものすごく強いメッセージが込められていると思うので、それをなんとか自分のなかから出したかったです。でも、独りよがりのものではなくて、Toshlさんの歌の響きにちゃんと包まれた状態で、Toshlさんの心の動きまでも表現しきりたいという気持ちがありました。

羽生結弦

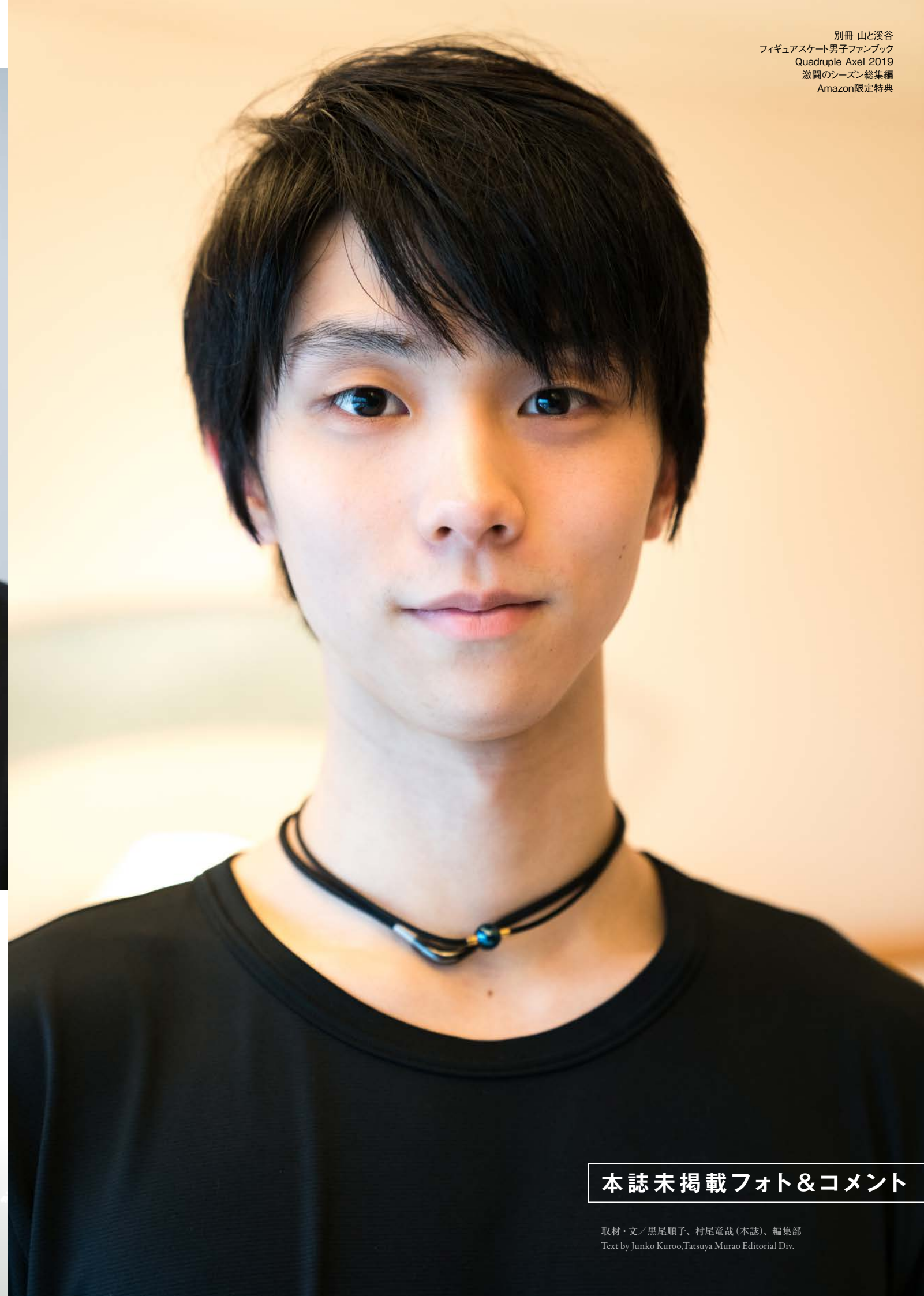
Y u z u r u H a n y u



Joe Kobashi



Joe Kobashi



本誌未掲載フォト&コメント

取材・文／黒尾順子、村尾竜哉(本誌)、編集部
Text by Junko Kuroo, Tatsuya Murao Editorial Div.

——島田選手は、ステファン先生に叱られることもありますか？

高志郎 叱られるということはないんですけど、僕が何かできないときは、本当に細かく、できるまでじっくりと向き合ってくれます。

ステファン とときどき生徒たちを見ていて、「今日はあまりハードに追い込みたくないムードだな」と感じる場合があります。そんなときは、エネルギーが完全に止まってしまっている状態だから、ほんの少しだけ発破をかけてみる。チョン、と押してやるんです。ときには、それが起爆剤になって、そこからうまく回っていくこともあります。

デニス 僕の気持ちが落ちていたときも……。

ステファン ほんの少しだけプッシュしてあげる。その最初のひと押しで、「ああそうか、やれるぞ」となってくることがあるんです。でも、どのタイミングでプッシュしてやったらいいか、それを知るのはなかなか難しいですね。逆に、そっとしておいたほうがいい、ということもあるわけです。私の恩師である

ピーター・グルッターは、いつも同じ言葉を繰り返していました。「常に、『バランスはどうだろうか』と問いかけることだ」と。どのくらいプッシュするか、どのくらい様子を見るか。絶妙なバランスをとることが大事です。それは人生にも言えることです。

——コーチングの極意は、ただ家族的なだけではないのです。

ステファン 家族であり、仕事をする仲間であり、すべてですね。大事なのはバランスです。

高志郎 それをピーターから教わったとは知りませんでした。

ステファン そうなんです。彼はいつも「バランスが大事だ」と話していました。フランス語ではそれを「dosage（さじ加減）」と言います。それぞれが、絶妙なさじ加減であること。レシピを完成させるのと同じです。砂糖は多すぎ、塩は少なすぎでは、美味しい料理は完成しません。それぞれを適量入れて、全体が絶妙なバランスになるように。そのためには相当な経験も必要になりますけれど。

ステファン・ランビエル × デニス・ヴァシリエフス × 島田高志郎

Deniss Vasiljevs × Stephane Lambiel

× Koshiro Shimada





中村 優

Shu Nakamura



Masahito Kubota

Quadruple Axel 2019

本誌未掲載フォト&コメント

Taichiro Yamakuma

——全日本選手権のテレビ中継では、ショートの滑走前に、「思いつき楽しんできます！」と林(祐輔)先生に力強く宣言する姿が放送されましたね。

あれ、恥ずかしいんですよ！いま自分で映像を見返すときは飛ばしてますもん(笑)。でも、あれを言うか言わないかで、メンタル面への影響が大きいな、と後から思いました。声に出して言ったから、「よし、楽しもう！」ってあらためて思え

ましたし。たぶん、林先生は「こいつ相当楽しんでるな」って、だいぶ前から感じていたと思うんですけど(笑)、先生も「よし、行ってこい」って言ってくれたので、すごく良かったです。楽しむことが、いちばん大事だと思っていたので。初出場のシニアの全日本で、自分がどれくらい評価されるかなんてわからなかったから。でも、最終的にトップ10に入れたのは、ついていたなと思います。

——新しいプログラムをつくる時、ご自身でアイデアを出すほうですか？

そのときによりますね。今季の『ロミジュリ』(フリー)は、ジェフに「何かやりたい曲はある？」って聞かれて、「『ロミジュリ』のような曲がやりたい」と伝えたら、いろいろなバージョンのなかから、「これならあなたに合うと思うよ」って、あの曲(チャイコフスキー作曲)を選んでくれました。

——ほかの選手の演技を観て、「これをやりたいな」と思うこともありますか？

思うこともあるんですけど、その選手の印象が強すぎて、「使えないな」って(笑)。そこまでの滑りができたらいいんですけど……。とか言いながら、けっこう大ちゃん(高橋大輔)が使っていた曲も多いんですけど(笑)。

Masahito Kubota



Joe Kobashi



Kazuki Tomono

Masahito Kubota



山隈 太一朗



Joe Kobashi

——ご自身が先輩たちから学んだことを、同世代の選手たちに伝えていく姿勢が素晴らしいですね。

全日本のあと、(山隈) 太一朗のことは褒めちぎりましたね。毎年、年末に(山本) 草太と太一朗と僕の3人で温泉に行くんですけど、「よかったよー！ありがとうございます！」って言って。草太もすごいですよね。練習を見ていても、もう簡単に4回転を跳んでいます。すごい、才能です。

——今度、ぜひ3人の座談会をお願いします！

いいですね！ やりたいなあ(笑)！もともと草太とよくご飯に行ってたんですけど、草太と太一朗もすごく仲がいいので、3人でご飯に行っています(笑)。僕たちは、臨海(スポーツセンター)で、ずっと一緒に練習していたので。臨海って、すご

いと思うんですよ。(出身者は) 大ちゃん(高橋大輔)、織田(信成)くん、町田(樹)くん、(田中) 刑事くん、僕、(山本) 草太、(山隈太) 太一朗、(須本) 光希……。このなかで全日本ジュニアチャンピオンが7人もいます。(臨海を拠点にしていた当時)毎日が本当に充実していました。すごく楽しかったですね。

——仲間といえば、インスタグラムに島田高志郎選手とのツーショットも上がっていましたね。

そうなんですよ。平成最後の日に、ふたりで食事しました。ちょうど高志郎がスイスから帰ってきて、「いま羽田です」って連絡がきたので、「じゃあ、大阪に来なよ」って言ったから、本当に来て(笑)！串カツ食べて、ラーメン食べて、めっちゃ楽しかったです。

R y u j u H i n o

——邦和スポーツランドでの「氷上員」のアルバイトは、どんなことをするのですか？

危険がないようにリンクのパトロールをしたり、「なんでも聞いてください」と書いたボードを首から下げてリンクを周回しながら、お客さんにアドバイスをしたりします。たとえば、初心者の方に、「うまく進めないんですけど、どうすればいいですか？」と聞かれたときは、「まずは氷の上を歩いてみましょう」と言って、少しずつ足を前に出してもらるようにして、だんだん一步の距離が延びるようにアドバイスしたりします。

日野龍樹



Joe Kobashi

H i r o a k i S a t o



Joe Kobashi

佐藤洸彬



Masahito Kubota

Quadruple Axel 2019

本誌未掲載フォト&コメント

鈴木潤

——スケートの費用を補うために、アルバイトをされているとか？

家庭教師をしていて、もう4年間くらい同じ生徒を見えています。すごくいい子で、勉強を教えるのも面白くて、毎回発見があるんですよ。逆にお金をもらうのが申し訳ないくらい、一緒に勉強しながら楽しんでいます。だから、働いているという感覚がありませんけど(笑)。家庭教師のアルバイトもできるかぎり続けて、その子が最後までやり遂げる姿を見届けたいなって思っています。

J u n S u z u k i



Tatsuya Murao



Tatsuya Murao

——佐藤選手は読書が趣味だとお聞きました。どんな小説を読むのですか？

僕がいちばん好きな作家は西尾維新さんで、小学生のころから読んでいます。言葉の使い方や言いまわしに特徴があって、初めて読む人には難解というか、読みづらいくもしれませんが、楽しい作品が多くて、僕は昔から大好きです。あとは、父親が赤川次郎さんのファンなので、僕も借りて読んだりしますね。『シャーロック・ホームズ』とか、海外のミステリ作品も読んでみたいと思っているんですけど、まだ手を出せていないので、時間ができたら読みたいです。



Masahito Kubota

須本光希

Mitsuki Sumoto



KANSAI UNIVERSITY ICE ARENA



Masahito Kubota

——関西大学のスケート部では、須本選手が新入部員にレッスンすることもあるそうですね。

新入生の体験レッスン会があって、まだ3回くらいしか教えていないんですけど、けっこう難しいと思いました。たとえば「どうやって跳んでるの?」って聞かれても、跳んだときにしかわからない感覚があるんですよ。自分が初心者だったころのことは覚えていないので、シングルジャンプだと、どう伝えていいのかかわからないんです。スケーティングの基礎なら、大西(勝敬)先生に教わったことがあるので、少しはレッスンできるんですけど。

——将来、指導者になりたいという思いはありますか?

将来は、アイスショーに出たいと

思っているんですけど、大学在学中に指導する技術も身につけて、どちらにでも行けるようにしたいと思っています。

——いずれにしても、将来はスケートの道に進みたいと考えているんですね。

はい。スケート以外は思いつかないです。ほかのことは、本当に何もできないので。



Masahito Kubota

三宅星南

Sena Miyake

——〈コヅカブレード〉を最初に履いたときの印象は?

自分に合うかどうか心配だったんですけど、履いてみてすぐに「いいエッジだなあ」って感じました。(木科)雄登も使っていて、「滑りやすい」と言っていたし、「あまりエッジを頻繁に研がなくても大丈夫」と聞きました。

——ブレードは以前、〈パターン

99〉の“レボリューション”を試したことがありましたね。

はい、あのときは体重が軽かったので、エッジを軽いものにしたら、滑りに安定感がなくなってしまったんです。〈コヅカブレード〉もほかのエッジに比べると軽いんですけど、いまは身長も伸びて、体重も増えてきたので、すごく扱いやすいなと感じています。

——今シーズンは、エキシビジョンナンバーもつくられたんですね。

イマジン・ドラゴンズの『ナチュラル』という、有名な洋楽の曲で、キャシー(・リード)先生に振り付けていただきました。けっこうダンスをするパートがあって、楽しかったです(笑)。僕は、あまり踊るイメージがないと思うので、初めての挑戦

という感じです。曲はいくつかの候補のなかから自分で選びました。エキシビジョンナンバーは、以前、(キム・)ジンソにつくってもらった『さくら』があるんですけど、あまりお披露目する機会がなかったので(笑)、今回はたくさん滑れたらいいなと思っています。

木科雄登

Yuto Kishina

Masahito Kubota



Masahito Kubota

Quadruple Axel 2019

本誌未掲載フォト&コメント



Masami Morita

Sota Yamamoto × Tatsuya Tsuboi



Masami Morita



Joe Kobashi

Keiji Tanaka × Kaori Sakamoto

坂本花織 × 田中刑事



Joe Kobashi



Shun Sato × Yuma Kagiya × Kao Miura

山本草太 × 壺井達也



Joe Kobashi

三浦佳生 × 佐藤駿 × 鍵山優真

Quadruple Axel 2019
本誌未掲載フォト



Joe Kobashi